

学校そばの篠山川で、たも網を手に生き物を探す多紀小4年生
＝丹波篠山市草ノ上で



篠山川水族館つくろう

多紀小 水生生物次々ゲット
4

ふるさとの自然環境について調べている多紀小学校4年生(22人)が7日、学校そばの篠山川で「川探検」と銘打って、生息している水生生物を調べた。児童たちは川に入って生き物が潜んでいる所をたも網でガサ

ガサと探り、小魚やエビなどを捕まえると「ゲットーッ」と声を張り上げていた。

篠山東雲高校理科教諭のさんと、同校自然科学部のさん(2年)らが講師を務め、水生生物の捕まえ方や生態などを児童に伝えた。

さんらは、岸辺に数多くの水槽を用意。「ここに捕まえた生き物をどんどん放り込んで、篠山川水族館をつくろう」の呼びかけに児童たちは、「いっぱい捕まえるで」と張り切った。

さんから「生き物は川の縁の茂みの下に潜んでいることが多い」とアドバイスを受けると早速、たも網を突っ込んで捕獲を試みた。その言葉通り、ドンコやシマドジョウ、ギギ、カワムツなどの魚類をはじめ、ヤゴやコオイムシなどが次々にたも網に入ると「でっかいぞー」「やったー」と目を輝かせていた。

スジエビなどを捕まえていた。さんは、「学校のすぐ近くの川に、こんなにもたくさん

生き物がくらしているなんて知らなかった。自然がいっぱいすごい」と笑顔を見せていた。

2025年5月15日

丹波新聞